

特定非営利活動法人 子育て応援団ゆうわ
令和元年度（平成31年度）事業報告
（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

I 運営に関する事項

1. 総会の開催

日時 : 令和元年5月26日 10:00～12:00

名取市市民活動支援センター

2. 理事会の開催

10月・1月 計2回開催（その他、電磁的方法での審議実施）

* 3月実施予定であった理事会については、コロナウィルスの影響により中止

3. 法人職員体制（令和元年度）

(1) 子育て応援団ゆうわ事務局

事務局長（業務委託及び指定管理事業事務員）：鈴木 敏浩

事務局員：1名 計2名

(2) 児童センター及び小規模保育所 管理運営事業

指定管理及び業務委託運営管理事業 統括 : 齋藤 勇介

統括補佐：小林 陽子

<那智が丘児童センター> 指定管理事業

館長（兼理事長）兼主任児童厚生員：齋藤 勇介

児童厚生員：6名 補助員：2名 計9名

<増田児童センター> 指定管理事業

館長：久保 允

主任児童厚生員：1名

児童厚生員 11名 補助員3名 計15名

（増田児童センター ファミリーサポートセンター スタッフ含む）

<下増田児童センター> 業務委託運営事業

館長兼主任児童厚生員：渡邊 由貴

児童厚生員 11名 補助員2名 計14名

<本郷小規模保育所> 業務委託運営事業

施設管理者（兼副理事長）：小林 陽子

0歳児 3対1名 1・2歳児 6対1名 子育て支援事業 2名

フリー 2名 延長保育担当 1名 調理業務 3名

II 特定非営利活動に関する事項

大分類	事業名	小分類	事業内容
1	児童センター及び 小規模保育所管理運営事業	(1)	那智が丘児童センター指定管理事業
		(2)	増田児童センター指定管理事業
		(3)	下増田児童センター指定管理事業
		(4)	本郷小規模保育所業務委託運営事業
2	子育て支援事業	(1)	サロンの実施
3	次世代育成事業	(1)	子育て支援者スキルアップセミナー
4	地域連携事業	(1)	他団体との連携・協力

1. 事業名 : <児童センター及び小規模保育所運営管理事業>

(1) 那智が丘児童センター指定管理事業

- ① 内 容
- 実 施 日：通年実施
*日曜、年末年始(12月29日～1月3日)を除く
 - 実 施 場 所：名取市那智が丘児童センター
常勤9名(臨時職員含む)
 - 受益対象者：0歳児から18歳までの児童及びその家族
放課後児童クラブ員(小学校1年生から6年生までの登録児童)

② 運営方針

- a. 児童に健全な遊びや活動の場を提供し、心と身体の健康の増進を図るようにする。
- b. 健全な遊びを通して、児童に日常生活の在り方や、安全について体得できるようにする。
- c. 異年齢児との活動を通して、心と心のふれあいと社会連帯意識を育てるようにする。
- d. 地域活動の育成助長を図っていくようにする。
- e. 子ども及び家族福祉に関わる団体・機関とのネットワークを育み、子育てを地域で見守り、応援し、支え合う子育ての環境作りに取り組む。

③ 目 的

- a. 生活や遊びを通して
 - ・組織的運動や遊びを集团的に実施することにより、児童の活動力を助長する。
 - ・いろいろな経験をすることで遊びの楽しさを知らせる。
 - ・ルールを身につける。
 - ・異年齢との交流を深める(思いやり・協調性を養う)。
- b. 安全に過ごす・・・危機管理意識を持つ。

④ 保護者支援・子ども乳幼児への支援

子育てひろば (ぴよぴよハウス)	・ 育児の中で親子共に心安らげる場所を提供する。 ・ 育児についての不安や悩みを共有する。 ・ 月曜日～金曜日 9:00～17:00(祝日、年末年始を除く) *年間利用者数は別表1参照。
ファミリー フェスティバル	・ 市内の子育て支援センターと連携し実施する子育て支援行事。 *新型コロナウィルスの感染防止のため、中止となった。 *市内子育て支援センター・ひろば・児童センターと連携し、実施している。
育児リフレッシュ (親子クッキング ・リフレッシュヨガ)	・ クッキングをしながらリフレッシュや親同士の交流の機会に繋げる。 (年3回実施) ・ ヨーガを通して心も体もリフレッシュ(年6回実施)

ベビーパレット	・ 1 歳程度までの子と保護者対象。親子ふれあい遊び、音楽遊びなど保護者も楽しめる活動を実施。 (年 1 0 回実施)
遊びの広場 「ぴよぴよ広場」	・ 親子触れ合い遊びや集団遊びなどの活動を通じて、子どもとの関わり方、子育ての楽しさを伝えていく。 工作、クリスマス会など実施。 ・ 年間 1 0 回開催。
ぴよぴよファーム	・ 畑作りの活動を通じて、自然と触れ合う経験を促す。 (年間 3 回実施)
・ わらべうた産後ダンス ・ 親子で楽しく運動遊び ・ のびのび親子体操	・ わらべうたにのせて、身体を動かして産後の身体のメンテナンスを図る。 (年 1 回実施) ・ 親子で一緒に運動を楽しむ (年 1 回実施) ・ 親子で一緒に運動を楽しむ (年 1 回実施)
なちプラ de ゴー	・ 広いお部屋で線路をつなげて、プラレールを走らせて遊び、親子や友だちと楽しい時間や想いを共有しながら過ごす。(年 5 回実施)
きらきらの会 お話し会	・ 絵本の読み聞かせを通じて、お話や絵本の魅力を感じるとともに、家庭に戻ってからの親子時間につなげていく。(年 2 回実施)
避難訓練	・ 非常時に備えて、身を守る術を考え、身に付けていく。 (年 4 回実施)
ビニールプール開放	・ 季節の遊びを楽しみながら、他の親子との交流を図り、楽しい時間を過ごす。(夏期間 6 回実施)
サークル支援 サークル交流会	・ サークルの情報管理等、地域の子育てサークルが活動を円滑に進めていくための相談・援助を実施する。 ・ サークル同士の交流をふれあい遊び等の活動を通じて実施。 (年 4 回実施)
保健センター連携 ・ 遊びの広場 ・ 離乳食セミナー	・ 健康相談時、身長・体重測定及び育児相談等と並行して遊びの広場を開催。 (年 8 回開催) ・ 離乳食セミナー時に手遊び・ふれあい遊びなどを実施し、親子の関わり方等子育ての情報を伝えていく。(年 6 回実施)

・子育て情報誌の発行 「piyopiyo」 ・広報なとり・公民館 だよりへの情報提供	・情報誌及び広報誌を通じて、子育てに関わる情報を地域へ伝える。 ・毎月1回発行 ・毎月1回掲載記事の提供
その他	○保健センター・那智が丘・増田・下増田児童センター連携事業 ・歯科指導：年間 2回実施 ・幼児食 Q&A：年4回実施 ○子ども支援課連携：情報紙「ちいさななかまたち」発行 ・メール配信・ホームページ・ブログを利用したの情報提供

プール開放



ぴよぴよファーム



子育てひろば 「親子 de プラレール」



親子で運動あそび



ベビーパレット



リフレッシュヨガ



⑤ 放課後児童クラブ及び自由来館

a.内容

児童に対しての遊びの指導及び助言並びに放課後の生活の場の提供。令和元年度（平成31年度）放課後児童クラブ登録児童数43名。自由来館業務に関しては、登録児童以外の1年生から6年生までの児童及び中学生、高校生

b.各種活動行事

- ・各種大会等……………様々な遊びに挑戦し、楽しさや達成感が感じられる活動を実施。
 - ・工作タイム……………身近な材料などを使い、簡単で楽しい工作を実施。
 - ・スポーツタイム…ドッジボールやバレーボールなど、体を元気に動かす。
 - ・ティータイム……簡単なおやつを自分で作ってみんなと楽しく食べる。
- ☆その他、お茶会など楽しい行事を多数実施。

⑥ 次世代育成支援

育児ボランティア 育成支援	・ 地域にある大学を中心にした学生ボランティア育成支援 ・ 子育て経験者を中心とした育児ボランティアサークルの育成支援
------------------	--

⑦ 地域交流

お話し会	地域のお話しボランティア「お話しポケット」によるお話し会を開催。活動を通じて子どもたちと地域の方々との交流を図る。 毎月1回開催。
------	---

デイサービス “うさぎ座” 慰問交流会	学区内にあるデイサービス“うさぎ座”との慰問交流。世代間交流を通じて思いやりの心や、やさしい気持ちなど、子どもたちの心の成長を育む 年間 1 回実施
福寿会交流	地域で活動している福寿会との交流。ゲートボールやグラウンドゴルフなどの活動を通じて、地域の世代間交流を図る。 年間 1 回開催

⑧ 中高生への支援

+ You （プラス ユー）	中高生の居場所作り事業 16：30以降の時間、クラブ室以外のスペースを中高生に開放。 ボランティアではなく、自分たちの「居場所」として施設の活用を促す。
-------------------	--

出産を控えた方から次世代を担う方々、放課後児童クラブ対象児童、子育てをひと段落された方々までつながりを持って支援していくことで、育児力の向上を図るだけでなく、地域の育児に対する意識の向上や、児童センターを介した地域交流から地域の活性化を目指している

スポーツタイム



夏祭り



デイサービス『うさぎ座』慰問交流会



クリスマス会



けん玉教室



みどり台中交流お茶会



⑧ 那智が丘児童センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	24日	22日	25日	26日	26日	123日
登録児童 (放課後児童)	629名	582名	560名	703名	635名	3109名
自由来館 (小学生以上)	441名	329名	368名	441名	306名	1885名
乳幼児の親子 (サロン利用)	141名	269名	304名	266名	175名	1155名
行事 クラブ活動	260名	162名	265名	180名	95名	962名
他団体 地域活動	48名	0名	55名	482名	22名	607名
合計	1519名	1342名	1552名	2072名	1233名	7718名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	23日	26日	25日	24日	98日
登録児童 (放課後児童)	503名	543名	583名	601名	2230名
自由来館 (小学生以上)	419名	509名	346名	269名	1543名
乳幼児の親子 (サロン利用)	195名	286名	234名	255名	970名
行事 クラブ活動	326名	340名	215名	311名	1192名
他団体 地域活動	67名	89名	105名	0名	261名
合計	1510名	1767名	1483名	1436名	6196名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	23日	23日	25日	71日	292日
登録児童 (放課後児童)	637名	581名	869名	2087名	7426名
自由来館 (小学生以上)	218名	246名	0名	464名	3892名
乳幼児の親子 (サロン利用)	270名	255名	0名	525名	2650名
行事 クラブ活動	311名	155名	23名	489名	2643名
他団体 地域活動	0名	7名	20名	27名	895名
合計	1436名	1244名	912名	3592名	17506名

1日平均利用者数：約60名

(登録児：25名 自由来館児：13名 乳幼児親子：9名 行事等：9名 他団体：3)

※3月は新型コロナウイルス感染防止のため、自由来館(子育て支援拠点含む)については利用中止。

< 1 年のまとめ >

児童センターが今まで以上に児童及び地域の方々の居場所となるよう努めてきた 1 年であった。自由来館及び放課後児童クラブ事業においては、こども会議で児童センターのルール作りをおこなったりと児童センターの運営に子どもたちが参画し、主体的に取り組んでいけるような仕組み作りをおこなっている。子育て支援拠点事業においても、おさがり交換会を日常の中で実施するなど、利用者同士の相互援助の仕組み作りに着手しており、この一年の取り組みを基に利用者自身が主体的に関わるシステムを深めていくことで、利用者が今以上に自分たちの「居場所」と感じられるような環境を育んでいきたいと考えている。

また、遊びの視点においても単に危険を排除するのではなく、リスクとハザードの視点から環境構成を検討し、命にかかわるような大事故につながらないように十分に配慮しつつも、失敗の経験からの学びを得られる環境を大切に子どもたちと関わってきた。大型のスコップや金づちなど、使い方次第では危険を伴う道具を、安易に大人の視点で「禁止」するのではなく、安全に使用するにはどうしたら良いかを子どもたちに問いかけて、ルール作りなどから共に考え、実践していくことで、道具の扱い方や周囲の状況把握など子ども達一人ひとりの活動に対する意識も高まってきたように思う。そして、「このような経験は、本当に今の子どもたちに必要な経験ですね」とコメントがあるなど、大人の意識にも変化がみられたように感じている。今、子どもたちにとってどんな経験が必要なのかを見極めながら、児童センターの環境や取り組みを今後も考えていきたいと思う。

利用状況については、団地内の少子高齢化の波もあり大勢の利用とはならないが、乳幼児から中高生まで定着した利用があり、地域とも顔の見える関係性が構築されているように思う。今後も、利用者や地域との関わりを深めながら、遊びを通した児童の健全育成を図っていききたいと思う。

(2) 増田児童センター指定管理事業

- ① 内容 ・実施日 : 年間を通じて実施
 ※日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)を除く
- ・実施場所 : 名取市増田児童センター
 - ・従事者 : 常勤3名、臨時職員9名、補助員2名
 - ・受益対象者: 0歳児から18歳までの児童及びその家族
 放課後児童クラブ員(小学校1年生から6年生までの登録児童)
- ② 運営方針
- a. 児童に健全な遊びや活動の場を提供し、心と身体の健康の増進を図るようにする。
 - b. 健全な遊びを通して、児童に日常生活の在り方や、安全などについて体得できるようにする。
 - c. 個別的、集団的、または異年齢児との活動を通して、心と心のふれあいと社会連帯意識を育てるようにする。
 - d. 地域活動の育成助長を図っていくようにする。
 - e. 子ども及び家族福祉に関わる団体・機関とのネットワークを育み、子育てを地域で見守り、応援し、支え合う子育ての環境作りに取り組む。
- ③ 目的
- a. 生活や遊びを通して
 - ・組織的運動や遊びを集団的に実施することにより、児童の活動力を助長する。
 - ・いろいろな経験をすることで遊びの楽しさを知らせる。
 - ・ルールを身につける。
 - ・異年齢や地域との交流を深める(思いやり・協調性・地域とのつながりを育む)。
 - b. 安全に過ごす・・・危機管理意識を持つ。
- ④ 保護者支援・子ども乳幼児への支援
 『子育てひろば・ぴよぴよハウスinますだ』
 地域の開かれた子育て環境として、「日常的に親子が楽しく利用でき、集い、遊べる
 ところ。
 ゆったりと過ごせる居場所。子育てに関する様々な情報交換の場。」を設定していま
 す。
 基本的に増田児童センター全室利用可(時間帯やセンターの状況により変更あり)
 月曜日～金曜日 9:00～17:00

活動名	内容・開催日・場所・回数等	ねらい
ホールDEあそぼうDAY	・4、6、7、10、12、2月実施 ・親子ふれあい遊び、集団遊び、児童文化財鑑賞など ・定員、申込なし	・親子での活動を通じて、親子同士や地域の様々な関係とのコミュニケーションを図る。
工作あそぼうDAY	・5、9、11、1月実施 ・簡単な工作の紹介 ・定員、事前申込あり	・様々な活動を通し、子どもの成長を見守る関係づくりを図る。
お誕生日会	・4、5、6、7、8、9、10、11、12、1、2月実施 ・親子ふれあい遊び、手形など ・定員なし、事前申し込みあり	・遊びの紹介、伝承を行う。 ・親同士の交流を図りながら、子育ての不安を軽減する。

赤ちゃんのひろば		・ 7、11、12月実施 ・ 1歳未満のお子さんを対象 ・ 定員、事前申し込みあり	・ 育児についての情報交換
赤ちゃんのつどい		・ 5、6、8、9、1、2月実施 ・ 1歳前半までのお子さん対象 ・ 定員、事前申し込みなし	
双子ちゃんの広場		・ 9月実施 ・ 定員、事前申込あり	
双子ちゃんのつどい		・ 6、11月実施 ・ 定員、事前申し込みなし	
ぴよぴよ共催事業	幼児食 Q&A	・ 5、9、12、2月実施 ・ 下増田、那智が丘と共催 ・ 保健センター 2階会議室 ・ 1歳～1歳半対象	・ 育児に関連する情報の提供 ・ 保健センターとの連携を図る
	歯みがき指導	・ 6、11月実施 ・ 下増田、那智が丘と共催	
パパママお楽しみ DAY		・ 11月実施 ・ 定員、事前申込あり	・ 就労家庭やパパの育児参加の支援を行う。
コッコの時間		・ 5月実施 ・ 定員、事前申し込みあり ・ ハンドマッサージ	・ 大人中心の活動の中で育児リフレッシュ、コミュニケーションを図る。
ぴよぴよガーデン		・ 5、7、10月 ・ 簡単なガーデニングや自然素材を使った制作を行う。 ・ 日常的に自然に触れあい、植物の成長を楽しむ。	・ 自然と触れ合い、それらの大切さ、楽しさ、奥深さを体験する。
ぴよっ！とタイム		・ 5、7、8月実施 ・ メール配信でのみお知らせ ・ 園芸活動、水遊び など	・ 季節などに応じた活動を楽しむ
次世代育成支援		・ 随時受付 ・ イベント時のボランティア、夏休みや空き時間を利用した保育体験などの受け入れ。	・ 次世代を担う方々に、子どもたちと関わる環境の提供を行い、その姿を活動として知ってもらう。
育児相談 (もしもし子育て110番)		・ 月～金 (9:00～17:00) ・ 電話相談、来所・サロンでの相談を受け付ける	・ 育児に不安や悩みを持つ親などから電話や面接を通じて相談を受け、話を聞いたり問題解決へのアドバイス等をしたりすることで、子育て支援の一環を担う。 ・ 必要な場合は関係機関への橋渡し、情報提供を行う。

訪問型子育て支援 (ホームスタート)		・ 随時 ・ トラストイー会議 2回 ・ ビジター定例会 2回 ・ 宮城県連絡協議会 3回 ・ 東北エリア会議 1回	・ 育児に不安や悩みを持つ親などから申請を受け、事前研修を受けた子育てボランティアを派遣し、話を聞き、気持ちに寄り添うことで、子育て支援の一環を担う。 ・ 必要な場合は関係機関への橋渡し、情報提供を行う。
サークル支援・育成	サークル情報管理	・ 年度ごとに、サークル登録用紙を提出してもらう。 ・ メールアドレス登録（代表者）	・ 市内へのサークル情報発信。 ・ 高館、下増田と共通で情報を管理し、入会希望者をサークル代表とつなぐ。
	子育てサークルの遊びのお手伝い	・ 各サークルにつき年2回 ・ 各活動場所にて各地域の児童センター職員が対応する。 ・ 物品貸出等、児童センターへのサポートを行う。	・ サークルの要請に応じ、親子の遊びを支援する。
	サークル代表への遊びの提供 (サークル交流会)	・ 年3回（全体2回、地域毎1回） ・ 増田児童センター、高館あおぞら子育て支援センター、下増田児童センター、那智が丘児童センター、本郷小規模保育所きららルーム	・ 遊びの講習を行い、サークル活動のサポートをする。
	交流運動会	・ 10月16日 ・ 名取市増田西公民館	・ サークル同士の交流、情報交換を図る。
	自主サークル結成のお手伝い	・ 要請に応じて	・ ボランティアとの交流を図る。
子育て講座	竹丸先生の『わらべうた』	・ 6月実施 ※3月は中止 ・ 定員有り、事前申し込み制	・ 他参加者や講師とのコミュニケーションをリフレッシュや育児不安の解消のきっかけにしてもらう。 ・ 発達や育児、生活等に関する専門的な講話をきき、育児に役立ててもらおう。 ・ ママたちの要望に応じて行う。
	紅茶講座	・ 6月実施 ・ 定員有り、事前申し込み制	
	ママクッキング	・ 11月パパママDAYと合わせて実施 ・ 定員有り、事前申し込み制	
関係機関連携・支援	ファミリーフェスティバル	※新型コロナウイルス感染防止のため、中止	・ 各子育て支援拠点施設を利用している親子、これから利用する親子の交流や情報の共有を図る。 ・ 市内の子育て支援に携わる人を知ってもらい、より良い支援活動に繋げていく。
	なとりっこ	・ 6月29日実施 ・ 名取市文化会館	
	保健センター「遊びのひろば」	・ 場所：保健センター ・ 5、6、8、9、10、11、12、1、3月実施	
	離乳食セミナー	・ 場所：保健センター ・ 5、7、9、11、1月実施	

	ボランティアグループ・ボランティア連絡会との連携	・遊びの支援、育児講座、サークル支援等に関わってもらう。	・子育てに関わる機関と情報交換を行い、一貫した活動が行えるようにする。
	ちいさななかまたち	・なとりっこにて発行	・子どもとの接し方、遊び方を保護者へ知らせる。 ・在園時、家庭保育児それぞれに役立つような内容の記事を発行。
	ぴよぴよ通信の発行	・月1回発行	・育児に役立ててもらえるよう、子育てに関する各種情報の提供をしていく。 ・行事の告知、子育ての情報発信。
	地域施設との連携、交流	・随時	・地域に根差した子育て支援拠点施設として、地域の施設との連携・交流を行う。
その他	あそびうたのコンサート、人形劇鑑賞、子育てに関わる講座の開催等、子育てイベントの開催。	・パパママお楽しみDAY（11月） ・ジャイアンとぱぱ 親子ふれあいコンサート（2月）	・その時々の子育ての姿に合わせ、親育ち子育てに役立ちそうな内容のものを開催。
	産前産後の支援・就労家庭子育て支援	・訪問型子育て支援ホームスタートにおいて、産前ビジター訪問を次年度より実施予定。 それに向けて、産前ビジター養成講座を実施。（1、2月）	・ニーズに合わせて行う。

⑤ 放課後児童クラブ及び自由来館

a. 内容：児童に対しての遊びの指導及び助言並びに放課後の生活の場の提供。

令和元年度放課後児童クラブ登録児童数は、1年50名、2年35名、3年26名、4年12名、5年17名、6年5名、合計145名（令和2年3月31日現在登録数）。
自由来館業務に関しては、登録児童以外の1年生から6年生までの児童及び中学生・高校生。

b. 各種活動行事

- ◎各種大会等……様々な遊びに挑戦し、楽しさや達成感が感じられる活動を実施。
 - ◎工作タイム……身近な材料や廃材などを使い、簡単に楽しい工作を実施。
 - ◎きりえタイム……カッターの使い方を知り、ステンドグラスのような素敵な作品を作る。
 - ◎スポーツタイム…ドッジビーやユニホックなど、先生の指導を受けながら楽しく元気に体を動かす。
 - ◎けん玉タイム…先生と一緒にゲームなどまじえながら、いろんな技に挑戦。
 - ◎お話タイム……地域の方による絵本・手作り紙芝居などの読み聞かせの時間。
 - ◎午後の喫茶店……手作りおやつを喫茶店の雰囲気、みんなで楽しくいただく時間。
- ☆その他、一輪車検定、子どもたち主催の緑日や季節を感じられる活動を実施。

⑥ファミリーサポートセンター

- ◎「育児のお手伝いをしてほしい方（利用会員）」と「育児のお手伝いをしたい方（協力会員）」が、地域の中で助け合いながら子育てをする会員組織・有償のボランティア活動。

◎利用のしくみ

会員登録後、援助が必要になったら、センターは利用会員に協力会員を紹介する。
事前の顔合わせの後、活動を開始する。
利用会員は活動後速やかに報酬を協力会員に支払う。
協力会員は月ごとに活動記録簿をまとめ、センターに提出する。

- ◎活動状況…別紙①「令和元年度ファミリーサポートセンターの活動状況」参照
別紙②「令和元年度子ども年齢別集計表4月～3月」参照

⑦地域交流など

- ◎（他団体受け入れ事業）「名取こどもミュージカル み～んなトモダチ～笑顔の輪～」
【令和元年8月7日 増田児童センター】

名取こどもミュージカルの地域交流事業を受け入れた。児童センターを利用しているたくさんの児童が参加し、歌やダンスを通して異年齢の交流や小学生が中学生に憧れを持つことができる機会となった。

- ◎（児童センター行事）「お化け屋敷」【令和元年9月15日 増田児童センター】
普段児童センターを利用している小学生、乳幼児親子だけでなく、幅広い方々に児童センターに足を運んでもらえるよう周知し、子どもから大人まで関わりを持ちながら楽しめる企画として行った。親子で楽しむ姿や、中学生がその場に居合わせて小学生と一緒にまわる姿を見ることができた。

- ◎（地域連携行事）「第31回 ますだこどもまつり」【令和元年10月6日 増田小学校体育館】
地域の子どもたちを対象に10地区の子ども会と連携し行う毎年恒例の一大イベント。昔あそびや空き缶重ね、射的などさまざまな遊びを通して子ども同士や地域の方々との交流を図る。多くの大人が地域の子どもたちのために企画運営を行い、今年も大成功となった。

- ◎（児童センター行事）「クリスマス会」【令和元年12月17日 増田児童センター】
乳幼児対象の「びよびよクリスマス会」では増田保育所の年長さんが参加し、ダンスを披露したり、小学生対象の「クリスマス会」では名取北高等学校のギター部が来館し演奏をしてくれたりと季節の行事と合わせて、異年齢の地域の子どもたちが交流を図る機会を作ることができた。

- ◎（児童センター行事）「新春 七草会」【令和2年1月7日 増田児童センター】
地域でお世話になっているボランティアや民生員など地域の方々をご招待して日頃の感謝を伝えると共に、独楽回しやカルタ、羽つき、凧揚げなど室内外でお正月遊びを一緒に行ったり、七草がゆを一緒に食べたりしながら交流を図る。昔遊びや七草がゆ、職員の出し物を見ながら同じ時間や気持ちを共有し、笑顔が溢れる会となった。

☆子育て支援の様子☆



工作お楽しみ DAY
「セタカざり作り」



パパママお楽しみ DAY



コッコの時間
「ハンドマッサージ」



ハロウィン



クリスマス会



ぴよぴよガーデン
「種まき」



お誕生会



ホール DE 遊ぼう DAY



ジャイアンとパパ
親子ふれあいコンサート

☆学童の様子☆



スポーツタイム
「バスケットボール」



けん玉タイム



お話タイム



工作タイム



午後の喫茶店
「ふわもこドリンク」



の〜い〜会
スイカ割り



放課後児童クラブ
親子レクリエーション「芋煮会」



クリスマス会



おおそうじ



即興劇鑑賞



放課後児童クラブお楽しみ企画
「ダンス・ダンス・ダンス」



交通安全教室

☆ファミリーサポートセンター、地域交流などの様子☆



ファミリーサポートセンター
スキルアップ講座



ホームスタート
産前ホームビジター養成講座



名取こどもミュージカル
み～んなトモダチ ～笑顔の輪～



地域交流行事
お化け屋敷



第31回
ますだこどもまつり



新春
七草会

⑧増田児童センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	25日	22日	25日	27日	26日	125日
登録児童 (放課後児童)	2810名	2497名	2678名	2772名	2040名	12797名
自由来館 (小学生以上)	1201名	1681名	1736名	1573名	553名	6744名
乳幼児親子	295名	246名	211名	291名	186名	1229名
行事	567名	448名	670名	615名	550名	2850名
合計	4873名	4872名	5295名	5251名	3329名	23620名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	24日	25日	26日	24日	99日
登録児童 (放課後児童)	2419名	2582名	2529名	2438名	9968名
自由来館 (小学生以上)	1540名	1972名	1551名	1045名	6108名
乳幼児親子	315名	369名	317名	359名	1360名
行事	875名	813名	601名	503名	2792名
合計	5149名	5736名	4998名	4345名	20228名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	23日	23日	25日	71日	295日
登録児童 (放課後児童)	2320名	2187名	2348名	6855名	29620名
自由来館 (小学生以上)	1234名	1166名	0名	2400名	14761名
乳幼児親子	369名	316名	0名	685名	3274名
行事	424名	346名	0名	770名	6412名
合計	4347名	4015名	2348名	10710名	54558名

1日平均利用者数：約185名

(登録児：100名、自由来館児：50名、乳幼児親子：11名、行事等：22名)

令和元年度 ファミリー・サポート・センター活動状況

1. 会員数について 令和2年3月末現在

利用会員	502 人
協力会員	128 人
両方会員	52 人
合計	682 人

2. 活動状況について 平成31年4月1日～令和2年3月末日

活動内容	回数
保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの送迎	53
保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	15
保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの送迎及び預かり	63
保育施設までの送迎	19
放課後児童クラブ終了後の子どもの送迎	27
放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	0
放課後児童クラブ終了後の子どもの送迎及び預かり	333
学校の放課後の子どもの送迎	8
学校の放課後の子どもの預かり	13
学校の放課後の子どもの送迎及び預かり	3
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの送迎	0
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	1
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの送迎及び預かり	0
買い物等外出の際の子どもの送迎	0
買い物等外出の際の子どもの預かり	35
買い物等外出の際の子どもの送迎及び預かり	0
保護者の就労（短期・臨時・求職活動等）の場合の送迎	0
保護者の就労（短期・臨時・求職活動等）の場合の預かり	90
保護者の就労（短期・臨時・求職活動等）の場合の送迎及び預かり	0
保護者の病気、急用等の場合の送迎	0
保護者の病気、急用等の場合の預かり	2
保護者の病気、急用等の場合の送迎及び預かり	0
障がいを持つ子どもの送迎	0
障がいを持つ子どもの預かり	0
障がいを持つ子どもの送迎及び預かり	1
学校、幼稚園、保育所の休みのときの送迎	0
学校、幼稚園、保育所の休みのときの預かり	28

学校、幼稚園、保育所の休みのときの送迎及び預かり	40
学校の放課後の学習塾や習い事等までの送迎	87
学校の放課後の学習塾や習い事等までの預かり	4
学校の放課後の学習塾や習い事等までの送迎及び預かり	140
放課後児童クラブ開始前の送迎	0
放課後児童クラブ開始前の預かり	0
放課後児童クラブ開始前の送迎及び預かり	20
保護者の産前・産後時の子どもの送迎	15
保護者の産前・産後時の子どもの預かり	0
保護者の産前・産後時の子どもの送迎及び預かり	0
保護者のリフレッシュ・習い事時の子どもの送迎	0
保護者のリフレッシュ・習い事時の子どもの預かり	27
保護者のリフレッシュ・習い事時の子どもの送迎及び預かり	44
保育所等施設入所前の送迎	0
保育所等施設入所前の預かり	0
保育所等施設入所前の送迎及び預かり	0
その他（送迎のみ）	0
その他（預かりのみ）	3
その他（預かりと送迎）	9
合計	1080

キャンセル	16
-------	----

⑨ 1年のまとめ

ぴよぴよハウスでは乳幼児親子の様子や声から、ニーズや求められているものは何か。伝えられることは何かを日々考えながら進めてきた1年だった。cocoI' 11の開館や名取市内の子育て支援が充実してきたため、例年より利用人数が減少傾向にある。それにより大人数での行事はなくなり、より一人一人に向けた支援を行うことができるようになった。そのため、育児相談という形ではなくとも気軽に想いを話してくれる保護者が増えてきたように感じる。それにより、子育てコーディネーターや保健師に巡回相談等の機会にさりげなくつなげることができ、不安解消につながったという声を多く聞くことができた。訪問型子育て支援ホームスタートではこれまでの活動に加え、令和2年度より産前の家庭への支援を始める。そのため、産前ホームビジター養成講座を行った。社会の変化による家庭環境の変化を理解し、そのうえで出産を控え不安を抱えている利用者に寄り添う事の難しさと大切さ。そして改めて命の尊さを感じる講座となった。

学童では、放課後児童クラブ、自由来館共に利用人数は増えている。そのため、小学校の教室を借りての受け入れや長期休業期間のサテライト実施など大きな変化があった。児童センター以外の場所で受け入れることや児童が分散されることにより、安全管理や環境設定、保護者の理解など、日々課題を感じる1年となった。前年度に事故が続いたことを受けて、安全管理について職員の意識の共有と児童への伝え方、声掛けの仕方に工夫をした。それにより、自ら遊び方を考えたり、伝え合ったりする様子が見え、縦割りの交流も図ることができるきっかけとなった。また、やりたいことや想いを職員に話してくれる児童が増えてきたように感じる。職員だけが児童の過ごし方や環境を整えるだけでなく、児童と一緒に居場所を作っていけるよう関わりや働きかけをしていきたい。

昨年の卒業生が毎日のように来館し、中高生の利用が定着してきた。次年度に向け、中高生ならではの活動や異年齢の交流も含めて、取り組みを検討していきたい。

ファミリー・サポート・センターでは、今年度は会員同士の交流や活動内容の充実を図るため、地域に分かれての交流会を行った。少しでも気軽に参加できる交流の場を増やしていき、情報交換や気持ちの共有、つながりを深めることで今後の活動につなげていきたい。また、年間通して広報活動を行っているため、登録講習会終了後に協力会員登録希望者の声が多くなっている。そのため、年2回の実施を今後検討している。

(3) 下増田児童センター業務委託運営事業

- ① 内容
- | | | |
|---|-------|--|
| { | 実施日 | : 年間を通じて実施
*日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)を除く |
| | 実施場所 | : 名取市下増田児童センター |
| | 従事者 | : 常勤12名(臨時職員含む)、補助員2名(長期休みやイベント時など) |
| | 受益対象者 | : 0歳児から18歳までの児童及びその家族
放課後児童クラブ員(小学校1年生から6年生までの登録児童) |

②運営方針

- a. 児童に健全な遊びや活動の場を提供し、心と身体の健康の増進を図るようにする。
- b. 健全な遊びを通して、児童に日常生活の在り方や、安全について体得できるようにする。
- c. 異年齢児との活動を通して、心と心のふれあいと社会連帯意識を育てるようにする。
- d. 地域活動の育成助長を図っていくようにする。
- e. こども及び家族福祉に関わる団体・機関とのネットワークを育み、子育てを地域で見守り、応援し、支え合う子育ての環境作りに取り組む。

③ 目 的

- a. 生活や遊びを通して
 - ・組織的運動や遊びを集団的に実施することにより、児童の活動力を助長する。
 - ・いろいろな経験をすることで遊びの楽しさを知らせる。
 - ・ルールを身につける。
 - ・異年齢との交流を深める(思いやり・協調性を養う)。
- b. 安全に過ごす・・・危機管理意識を持つ。

④ 保護者支援・子ども乳幼児への支援

活動名		内容・開催日・ 場所・回数等	ねらい
ぴよぴよタイム ・年に8回開催（参加延べ人数356名 （10:30～11:30） ・親子ふれあい遊び、集団遊び、工作、児童文化財鑑賞など			・親子での活動を通じて、親子同士や地域の様々な関係とのコミュニケーションを図る。 ・同じ学年の子どもを持つ保護者同士の繋がりをつくり就学後の関係づくりに活かしていく。 ・様々な活動を通し、子どもの成長を見守る関係づくりを図る。 ・遊びの紹介、伝承を行う。
保護者支援「コックタイム」 ・年5回開催（参加延べ人数45名） ・育児リフレッシュや保護者同士のコミュニケーションを図る場として、保護者目線での活動を実施。時にはティータイムを交えながら和やかな時間を過ごす。			・育児リフレッシュ、大人同士のコミュニケーションを図る場を持つ。 ・大人も子どもも、様々な経験をするにより、知識を深め、楽しみながら充実した遊びの環境を皆で作り上げる。それにより、おもちゃを大切に使う気持ちを育む。 ・悩みや思いを出し合い、それらを共有することでお互いを理解しあう場を持ち、考え進む機会を得る。 ・子ども達におもちゃを通しての様々な経験を提供出来る環境作り。
幼児食 Q&A ・年4回開催（参加延べ人数64名） ・1歳～1歳半を対象。			・保健センターとの連携を図りながら、育児中の疑問などを気軽に質問できる関係をつくる。 ・発達に応じた、専門的な知識を聞く機会を設ける。（那智が丘・増田との共催）
歯みがき指導		・年2回開催。 参加延べ人数30名 ・0～1歳、1歳半～を対象。	
育児相談 （もしもし子育て110番）		・月～金 随時 ・電話相談、来所・サロンでの相談	・育児に不安や悩みを持つ親などから電話や面接を通じて相談を受け、話を聞いたり問題解決へのアドバイス等をし、子育て支援の一環を担う。
サークル支援・育成	子育てサークルの遊びのお手伝い	・年3回実施 参加延べ人数20名 ・各活動場所にて	・サークルの要請に応じ、親子の遊びを支援する。 ・遊びの講習を行い、サークル活動のサポートをする。 ・サークル同士の交流を図る。 ・活動拠点の児童センター職員との繋がりをつくる。
	サークル代表への遊びの提供 （サークル交流会）	・年3回開催 （参加延べ人数57名） ・増田児童センター	

		・高館あおぞら保育園	
	サークル交流会（運動遊び）	・年1回 10月16日 （参加人数37名） ・増田西公民館	
	自主サークル結成のお手伝い	・要請に応じて	
子育て支援連携事業			・他参加者や講師とのコミュニケーションをリフレッシュや育児不安の解消のきっかけにしてもらう。 ・発達や、救急法等に関する専門的な講話をきき、育児に役立ててもらう。 ・各センターを利用している親子、これから利用する親子の交流や情報の共有を図る。 ・市内の子育て支援に携わる人を知ってもらい、より良い支援活動に繋げていく。 ・子育てに関わる機関と情報交換を行い、一貫した活動を行う。
	育児相談会	・年3回実施 （参加者10名）	
	ファミリーフェスティバル	・3月10日 ※中止	
関係機関連携・支援	なとりっこ		・年1回（6/29（土）） ・名取文化会館 ・育児に役立ててもらえるよう、子育てに関する各種情報の提供。
	保健センター「遊びのひろば」	・年8回 ・保健センター	
	ちいさななかまたち	・前年度版修正実施	
	ぴよぴよ通信の発行	・月1回	・行事の告知、子育ての情報発信。
その他	たまごタイム	・月3回程度開催（15分程度） *SP企画5回（延べ参加人数82名）	・児童センター職員による絵本の読み聞かせや体操など、楽しみながら子どもたちとの関わりや子育てに対するアドバイスを実施する。 ・担当だけでなく、センター職員との交流を促進する。 ・行事の告知、子育ての情報発信。
	総合避難訓練	・3月13日実施	・災害時等いざという時の備えを、利用親子とともに確認する。

☆子育て支援の様子☆



親子リトミック



七夕会



ハロウィンパレード



クリスマス会



どんぐりころころさんの
お話し会



大人の工作
「タイルコースター作り」

⑤ 放課後児童クラブ及び自由来館

a.内容

児童に対しての遊びの指導及び助言並びに放課後の生活の場の提供。令和元年度（平成31年度）下増田放課後児童クラブ159名。（令和2年3月末日登録現在）自由来館業務に関しては、登録児童以外の1年生から6年生までの児童及び中学生、高校生

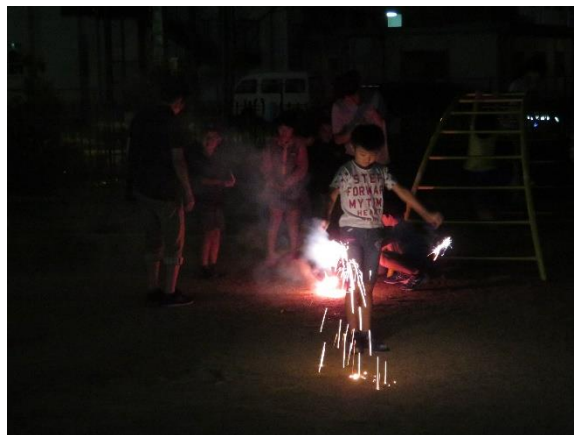
b.各種活動行事

- ・各種大会等……様々な遊びに挑戦し、楽しさや達成感が感じられる活動を実施。
 - ・工作タイム……身近な材料などを使い、簡単で楽しい工作を実施。
 - ・スポーツタイム…ドッジボールやバレーボールなど、体を元気に動かす。
 - ・お話しタイム……お話ボランティアさんによる楽しいお話の時間。
 - ・ティータイム……簡単なおやつを作ってみんなと楽しく食べる。
- ☆その他、ぬりえコンクールやチャレランなど楽しい行事を多数実施。

☆学童の様子☆



フリースペース



親子レク～花火大会～



ダンスワークショップ



ハロウィンフェスタ



サッカー教室



クリスマスパレード

⑥ 下増田児童センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	20日	19日	20日	22日	22日	103日
登録児童 (放課後児童)	2,750名	2,713名	2,591名	3,256名	2,751名	14,061名
自由来館 (小学生以上)	612名	262名	723名	1,192名	977名	3,766名
乳幼児親子	116名	184名	168名	195名	90名	753名
行事	32名	0名	172名	288名	38名	530名
合計	3,478名	3,159名	3,629名	4,806名	3,894名	18,966名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	20日	20日	20日	20日	80日
登録児童 (放課後児童)	2,503名	2,644名	2,515名	2,207名	9,869名
自由来館 (小学生以上)	595名	658名	654名	424名	2331名
乳幼児親子	200名	158名	222名	168名	748名
行事	73名	189名	357名	188名	807名
合計	3,412名	3,590名	3,565名	2,938名	13,505名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	19日	18日	21日	58日	241日
登録児童 (放課後児童)	2,333名	2,139名	2,108名	6,580名	30,510名
自由来館 (小学生以上)	500名	501名	0名	1,001名	7,098名
乳幼児親子	182名	176名	0名	358名	1,859名
行事	251名	142名	0名	393名	1,730名
合計	3,165名	2,964名	2,108名	8,237名	40,708名

1日平均利用者数：約169名

(登録児：127名、自由来館：29名、乳幼児親子：8名、行事等：7)

⑦ 1年のまとめ

児童センターとして開始してから4年、児童センターの存在もさらに周知され、多くの利用者にご来館いただくことができた。

子育て支援事業では、計画した行事に参加していただくことはもちろんのこと、行事がない日常での利用が多く、母親同士の交流が図られた他、職員との会話を楽しむ姿も多くみられた。

登録放課後児童クラブの登録ニーズは依然として高く、利用人数に対して限られたスペースの中で子どもたちが安心して自由に遊ぶことの出来る環境をいかに育んでいくのかが昨年同様の課題となっている。その中でも、「ミニ花火大会」や「おばけやしき」など、児童クラブの子どもたちが主体となって計画・実行をした行事を持つことができた。今後も子どもたちが児童クラブを「自分たちの場所」として運営に積極的に関われるよう機会と環境を整えていきたい。

地域連携としては、公民館祭りの中で昔遊びのブースを児童センターとして設けたり、ハロウィンやクリスマス等の季節の行事で公民館や交番等を訪問しながら実施したり、地域のみなさんと触れ合う機会を持つことができた。今まで乳幼児親子だけで実施していた地域へのパレードを、小学生対象で初めて行うことができ、小学生と地域の方々との交流をもつことができた。今後も児童センターとして地域とのつながりを深めていけるよう発信していきたいと思う。

利用状況としては、現在、乳幼児・小学生までの利用は定着しているが、児童クラブを中心に小学生の利用が非常に多く、なかなか中高生の利用促進に向け、環境作りに取り組むことが難しかった。0～18歳までの全ての児童を対象とする児童センターとしては、児童クラブのニーズが高いからこそ、児童クラブを卒業した後も、子どもたちの居場所となれるような環境整備や取り組み、情報発信の必要性の視点を持ち、地域とのつながりを育みながら、遊びを通した児童の健全育成を図っていききたいと思う。

(4) 本郷小規模保育所業務委託運営事業
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

<活動に関する事項>

① 事業名 : <小規模保育所管理運営業務委託>

主な管理運営業務 : 保育の実施に関する業務

特別保育事業の実施に関する業務

ア 延長保育事業

イ 地域子育て支援センター事業

保育所の維持管理に関する業務

名取市が必要と認める業務

開所時間 : 月曜日から金曜日まで 午前7時から午後7時まで

土曜日 午前7時から午後6時まで

* 日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)を除く

実施場所 : 名取市本郷小規模保育所

従事者 : 施設管理者 1

0歳児 3対1

1・2歳児 6対1

子育て支援事業 2

フリー 2

延長保育担当 1

調理業務 3

対象者 : 0歳児から2歳児までの乳幼児及びその家族

<本郷小規模保育所活動内容>

【小規模保育所事業】

1. 保育所保育方針

十分養護の行き届いた、家庭的で温かいぬくもりのある雰囲気の中で、一人

ひとりの子どもの思いを大切にし、愛されていると感じることのできる

保育を通し、将来を生き抜くたくましい心と体の基礎を培う

2. 保育所保育目標

○子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力(生きる力)

の基礎を培う

○入所する保護者に対し、その意向を受け止め、子どもと保護者の安定した

関係に配慮し、保育の特性や保育士等の専門性を生かして、その援助に

あたる。

平成31年度 年間行事

月	保護者参加の行事	子どものみの行事
4	19日（金）懇談会	9日（火）歯科健診
5	24日（金）親子いちご狩り遠足 （子育て支援合同行事）	22日（木）世代間交流畑作り交流
6		5日（水）内科健診
7		5日（金）七夕会
8	11日（日）本郷地区地域交流夏祭り （子育て支援合同行事）	1日（木）第1回不審者訓練 2日（金）第1回総合避難訓練
9	21日（土）ふれあいスポーツデー （子育て支援合同行事）	
10	12日（土）世代間交流芋煮会 （子育て支援合同行事）	1日（火）歯科健診 30日（水）内科健診
11		27日（水）第2回総合避難訓練
12	21日（土）世代間交流おたのしみ会 （子育て支援合同行事）	24日（火）世代間交流クリスマス会 （子育て支援合同行事）
1	17日（金）保育参加懇談会	
2		3日（月）豆まき会 19日（水）第2回不審者訓練
3	28日（土）ティーパーティー 2歳児の親子のみ	3日（火）ひな祭り会 （子育て支援合同行事）

- 毎月（避難訓練・身長体重測定）を行います。
- 毎月誕生者集会を行い、児童文化財や集団遊びを計画し行います。
- 地域の在宅親子の参加も積極的に受け入れて行います。



0・1 歳児 おひさま組





1・2歳児 おひさま組



【地域子育て支援センター事業】

1. 設置目的

子育て中の親の孤独感や不安感を緩和できるよう保育士が寄り添い支え、子どもの健やかな育ちを見守り、育むことを目的とした母と子の居場所づくり。

2. 対象者 : 未就学児とその保護者

3. 実施内容: 乳幼児及び保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行なう

4. 利用状況

子育てひろば (きららルーム)	・ 育児の中で親子共に心安らげる場所を提供する。 ・ 育児についての不安や悩みを共有する。 ・ 月曜日～土曜日 9:00～12:00 14:30～17:00 (日曜日、祝日、年末年始を除く)
ファミリー フェスティバル	・ 市内の子育て支援センターと連携し実施する子育て支援行事。 - 年間1回 * 高館保育所子育て支援センター及び児童センターと連携し、実施している。
育児リフレッシュ (ポップコーンタイム)	・ 日ごろの思いを言葉に出すことで共感、共有し一人ではないことを確認しホッとできる時間を確保。 * 参加費 無料 ＜ママたちのしゃべり場＞ *おしゃべりタイム 年3回開催
遊びの広場 「きららタイム」	・ 親子触れ合い遊びや集団遊びなどの活動を通じて、子どもとの関わり方、子育ての楽しさを伝えていく。 - 工作、クリスマス会など実施。 ・ 月1回開催
ベビーズ ピクチャー	・ 赤ちゃんの寝姿を生かし、遊び心たっぷりの背景で撮ることを楽しみ、子どもをゆっくり見つめる時間とし成長を実感し楽しむ ・ 月1回開催
子育て情報誌の発行 「きらら通信」	・ 情報誌を通じて、子育てに関わる情報を地域へ伝える。 ・ 毎月1回発行
その他	○保健センター・那智が丘・増田・下増田児童センター連携事業 ○子ども支援課連携: 情報紙「ちいさななかまたち」発行

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
開館日数	24	22	25	26	26	23	146
乳幼児の親子 (ひろば利用)	257	164	207	238	212	260	1338
行事	31	47	243	29	96	186	632
合計	288	211	450	267	308	446	1970

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	25	24	24	23	23	0	119	265
乳幼児の親子 (ひろば利用)	296	457	304	338	326	0	1721	3059
行事	78	303	143	160	104	0	788	1420
合計	374	760	447	498	430	0	2138	4108

子育て支援 きらら



きらら time



ふれあいスポーツデー



ベビーズピクチャー

【次世代間交流等事業】

【交流事業目標】

- 1 地域の人々との交流を通して開かれた保育所づくりをする。
- 2 高齢者と様々な触合いを通して思いやりや優しさの基礎を培う。
- 3 交流遊びを通して地域の子育て親子の仲間作りや育児支援を担う。

【年間計画内容】

月	活 動	内 容	対 象
5月 22日	顔合わせ 畑づくり交流	顔合わせをし、畑づくり きゅうり・なす・ピーマン・ トマト・さつま芋の苗植え	本郷福寿会（老人会）5名 保育所2歳児 9名
9月 21日	ふれあい スポーツデー	親子、地域親子、老人会の方が 触れ合いながら体を動かしたり、 応援をし合ったりする	保育所親子 40名 地域の親子 11名 本郷福寿会（老人会）8名
10月 12日	芋煮会	会食、遊び、産直野菜を通して、 保育所親子、地域老人、地域親子が 触れ合ったり、地域の特性を知る機会とする	保育所親子 49名 地域の親子 31名 本郷福寿会（老人会）13名
12月 21日	お楽しみ会	保育所親子、地域親子、老人会 の方と共に、演技を見て頂いたり、 遊びを通して、成長をしている姿を喜ぶ	保育所親子 48名 地域の親子 8名 本郷福寿会（老人会）9名
24日	クリスマス	クリスマスの楽しい雰囲気をも みんなで味わう。	保育所 20名 地域の親子 20名 老人施設 「ふるさと」利用者 8名
3月 3日	ひな祭り会	子ども達の成長を地域老人会 の皆さんと共に喜び、祝って頂く。	保育所の子ども達 20名 地域の親子（コロナの為不参加） 本郷福寿会（老人会）9名

【交 流 相 手】

- ・本郷老人会「福寿会」
- ・老人施設「ふるさと」
- ・子育て支援「きらら」利用親子

世代間交流



畑づくり交流



ふれあいスポーツデー



芋煮会交流



ひな祭り会

＜平成31年度のまとめ＞

保育所開所から2年半となり、3期生までの退所児を送り出すことができました。退所児の保護者様からは、本郷で最後まで見て頂きたいのに…というご要望の声もいただき、申し訳なく思いつつ、小規模保育所ならではの乳幼児に特化した（0～2歳児までの成長著しい時期を保護者の皆さんと一緒に見守り共に喜びあえること、担当保育士主体の保育ではなく、子ども一人一人の成長、課題を全職員が感じ、見つけ、共有しあい、運営していると感じていることなど。）保育のメリットも感じながら日々保育にあたってきました。

小規模保育所の課題として、今年度の退所児において、移行先の対応、意識の違いからか、保護者が戸惑いや苦痛を感じたり、就労に差し支えるといった事案があり、移行先の対応の統一、徹底をしていただき、保護者が困らないようにお願いしたいです。

地域子育て支援センター事業としては、小規模保育所のゆったりとした雰囲気の中で、保育士が母親の思いに耳を傾け、母親がゆったり子どもと向き合うことができる場、乳幼児の遊び場、育ちの場として取り組んできましたが、今年度はパパの利用者が見られるようになり、パパにとっての居場所になってきていることを嬉しく思っています。職員の対応の仕方（寄り添い方）も含め、全職員が支援パートナーをモットーに、引き続き支援事業にあたっていきたいと思っています。昨年度同様、来所者の固定化が見られ、周知方法など改善に取り組んできましたが、引き続き打開策を考えていきたいと思っています。

世代間交流では前年度同様、地域老人会「福寿会」の皆さんのご協力を頂き、畑づくり、収穫、芋煮会での「本郷お野菜市場」の開催で新米・自家製梅干し・みそ、新鮮な収穫されたばかりの野菜等の販売で、地域の親子、保育所、地域の方々が繋がる催し物が開催でき、地域密着型の保育所という認識を持っていただき、様々な点で、助けて頂きながら展開できる事に感謝をし、大事にしていきたい事業の一つと考えています。

今後も、日々の保育、様々な活動において、子どもを真ん中に共に喜びあえる取組の在り方を考えていきたいと思っています。

最後に、保育の質を高めることが求められている折、名取市主催の研修事業に参加させていただけたこと、また、法人主催の研修において、法人の理念方針など、子どもの発達の理解、支援者としての在り方等様々な方面から学ぶ機会を頂けたことに感謝しつつ、さらなる保育の質の向上（子どもの発達を見極める目、対応支援の仕方等）に努めていきたいと思っています。

2. 子育て支援事業

（1）サロンの実施

パパの交流サロン（お父さん委員会幼児部と連携）

日程：①令和元年9月20日（12名参加）②令和元年11月22日（7名参加）

会場：法人仙台事務局 参加費：無し

成果・課題

パパの交流サロンでは、自然な流れの中で、父親同士だからこその悩みの共有や参加者同士のアドバイスなども見られていた。今後は、ママの交流サロンや子育て支援者サロンなど同じ状況にあるもの同士が交流し、つながりを育んだり悩みを共有し合ったりする場の設定を実施するなど取り組んでいきたいと思う。



3. 次世代育成事業

(1) 子育て支援者スキルアップセミナー（運動遊び研究会きんにく〜ず共催）

① 「運動遊び」

講師： 引原 有輝氏（千葉工業大学 教授）

日程：令和元年5月26日（日）

会場：仙台事務局

参加人数：28名

② 「インプロワークショップ&交流会」

講師： 伊坂 亮氏（ロクディム）

日程：令和元年7月20日～21日

会場：名取市文化会館・子どもの遊び場〇〇

参加人数：24名

成果・課題

子育て支援者として、現場で求められるスキルの向上を図るとともに、参加者同士が職場の枠を越えてつながるきっかけにもなったように思う。一人ひとりのスキルアップを図りながら、子どもの育ちに寄り添う支援者同士が想いを共有していくことによって、より良い環境を育んでいくことが出来ると思う。今後も、支援者が抱える悩みやニーズを把握しながら、セミナーの開催を実施していきたいと思う。

4. 地域連携事業

(1) 他団体との連携・協力

① 内容

県内外の子育て支援を目的とする支援団体へ、協力団体として活動協力を実施（会場の設定、広報活動、講師派遣、ボランティアスタッフとして活動協力実施）

③ 実績

- ・大学生ボランティアによる中学生学習支援開催協力
- ・仙台父子手帳編集協力
- ・宮城県子育てサポーター・サポーター養成講座 講師
- ・宮城県放課後児童支援員資格取得認定研修 講師
- ・岩沼市子育て応援者養成講座 講師
- ・石巻市父子手帳作成委員会 オブザーバー
- ・富谷町放課後児童クラブ職員研修 講師
- ・松島町児童館・放課後児童クラブ職員研修 講師
- ・名取市内公民館講座 講師



大学生ボランティアによる学習支援

④ 成果・課題

取り組みを通じて法人の活動や、こどもたちの育ちに関わる想いを地域に伝えることが出来た。他団体との連携を深め交流していく中で知り得た知識や情報を法人事業で活かしていくことが出来ると感じている。ボランティアの方々や他団体等の持っているノウハウと一緒に取り組みながら学び、また法人としての強みを生かしていくことで、それぞれでは難しい取り組みも発信していくことが出来たと思う。他団体等とのつながりをこれからも大切にして、今後も取り組んでいきたいと思う。

Ⅲ 1年のまとめ

法人として、これまで実施してきた事業の基盤強化に努めてきた1年であったと感じる。新たな職員も増え、法人の理念や方向性を共有し、事業の見直しを図りながら基盤を強化に取り組んでいくことが早急に求められている。実施する1つ1つの事業の充実を図っていく上でも、法人の理念の下、お互いの立ち位置や取り組み方を尊重し、また職員として取り組むスタッフはさらに専門性を高めて取り組んでいくことが求められていると感じる。年度末からは、新型コロナウイルスの影響を受け指定管理事業をはじめとした取り組みについて、今までとは違った視点や取り組み方が求められている状況もある。職員同士が想いを共有し、これまで築いてきた基盤から現状に合わせて新たな視点を取り組み反映していくことがこれからの課題となっている。人や団体等とのつながりを大切に、共に学び合いながら取り組んでいきたいと思う。